

復興計画の概要について

1 平成30年7月豪雨の概要及び被害の状況

(1) 豪雨の概要

- ① 気象の概要
- ② 大雨の状況（記録的な未曾有の豪雨災害）
- ③ 警報等の発表状況（情報周知）等

【図・表挿入】

(2) 被害の状況

- ① 人的被害
- ② 物的被害（住家・その他）
- ③ ライフライン被害 等

【図・表・画像挿入】

2 復興計画の基本的な考え方

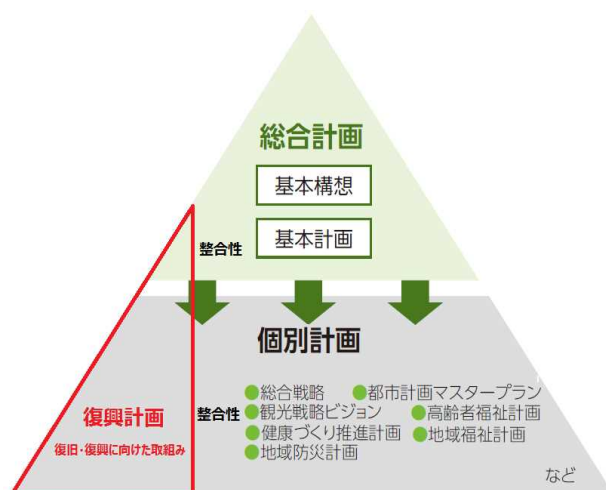
(1) 目的

復興計画を策定する目的を提示。

※復旧・復興の考え方を体系的にまとめ、施策を効果的に実施していく。

(2) 位置づけ

総合計画の一部としての位置づけと、これを達成するために必要となる個別計画としての位置づけの両方を持ち合わせたものとして策定。



○総合計画の前期基本計画の一部として位置づけ、後期基本計画の策定時にその視点を引き継いで適切に反映。

○他の個別計画（地域防災計画・財政計画等）とも整合性を図りながら着実に実施。

(3) 対象範囲

市内全域（特に被害の大きかった吉田地区は、ボリュームをとる）

(4) 計画期間

2019年度～2022年度の4年間（前期基本計画と同期）
 ※ただし、2018年度の取り組み・進捗状況も記載して整理。

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度以降
【復興計画】 前期基本計画	→					
後期基本計画						→
復興の取組	→					

(5) 計画(政策)の構成

① 復興ビジョン

将来世代にわたって暮らせる安心なまちづくりと産業の復興を盛り込む。

※総合計画「継承・共育・発信のまち」を基礎とし、住民アンケート等を踏まえ設定していく。

② 基本理念

「上記①のビジョン」を反映しつつ、復興本部が基本方針として目指す3つの理念「すまいとくらしの再建」・「安全な地域づくり」・「産業・経済復興」を復興計画においても共有。（事務局案）

※基本理念に基づき、効果的かつ迅速に豪雨災害からの復旧と地域経済の回復を図りつつ、今回の経験を踏まえた防災力の強化や更なる市の魅力向上など、宇和島市の将来を見据えた創造的な復興を目指した計画とする。

【イメージ図】



③ 基本施策

基本理念に沿って、復旧・復興の基本施策を実施（立案）する。

※復興本部の整理に準じて体系立てる。（事務局案）

基本理念1「すまいとくらしの再建」	
概要	被災者の生活再建のための住宅、雇用、医療、福祉、教育などを総合的に支援するとともに、「すべてのひとにやさしい、将来世代にわたって安心して暮らせる」まちづくりを進めます。
施策項目	各種計画、被害調査・生活再建支援・給付、住宅支援、各種被災者支援

基本理念2「安全な地域づくり」	
概要	今回の豪雨災害の教訓を踏まえ、河川整備、砂防・治山等の安全対策を実施するとともに、自助・共助・公助による地域防災力の向上、コミュニティ強化等、ハード事業及びソフト事業の両面において、「市民の命を守る、災害に強い」まちづくりを進めます。
施策項目	計画、水道、教育施設、消防、公共土木、公共交通、通信

基本理念3「産業・経済復興」	
概要	甚大な被害を受けた農水産業、商業、サービス業などの地域産業のあらゆる分野の産業復旧に向けた取り組みを支援し、地域経済の「元気・活力」を早期に取り戻すことで、「働く場のある」まちづくりを進めます。
施策項目	復旧工事、農業者・漁業者・中小企業者支援

④ 地区別対策

地区別の被害状況とともに、復旧・復興に向けた対策（工程）を整理する。

1) 宇和島地区

2) 吉田地区 ※特にボリュームをとる。

3) 三間地区

4) 津島地区

（地区別に）

○被害状況

○住民アンケート結果(暮らし再建、生業再建、減災の考え方整理)

○タウンミーティング結果

○地域地図（公共インフラ等を落とし込む）等

3 計画の推進について

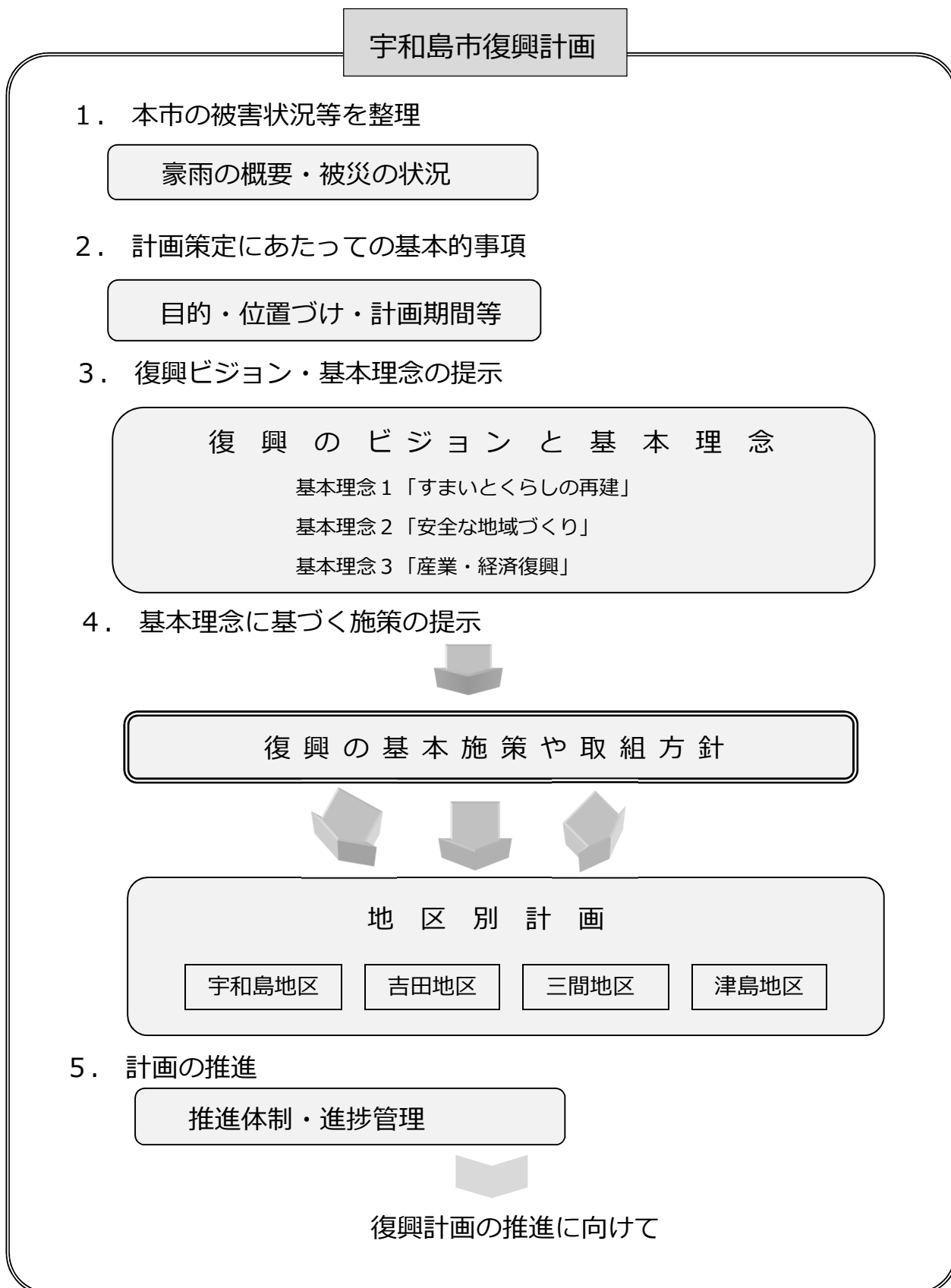
（１）策定推進の体制

- ① 地域住民との協働、市議会からの提言、外部アドバイザー等の意見を集約し、復興本部を中心に施策を進める。
- ② アンケートによる地域住民の声、タウンミーティングや事業者・ボランティア団体等からの課題・ニーズの聞き取り、議会やパブリックコメントの提言など、多様な声を反映させる。

（２）進捗管理

毎年度進捗状況を点検評価し、必要に応じて施策の見直しを図る。

【構成案】



4 復興計画策定の流れ

